

【2章】

【3章】

【4・5章】

【6章】

市が抱える問題

課題

計画目標

施策・措置

評価指標

交通基盤・交通特性

- 計画対象路線の整備進捗が滞っている。
- 市民の「移動への不満」は慢性的な道路渋滞、自転車通行空間の不足。
- 柏駅周辺の歩行者自転車通行量は減少傾向。

① 通行空間に関する課題

- 自転車通行空間が不足
- 自転車通行空間の早急な整備

はしる

安全で快適な道路空間、 自転車通行空間をつくる

- 1 自転車が走りやすい空間づくり
- 2 自転車の安全に配慮した環境づくり

- 1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の整備
- 2 自転車通行空間の通行方法に関する広報啓発
- 3 違法な路上駐車の削減に向けた広報啓発
- 4 自転車通行空間の適切な維持管理

観光

- 市内への来街者数の減少
- 手賀沼周遊レンタサイクルは利用者にとって不便な状況

② 活用に関する課題

- 手賀沼などのサイクリングロードを活かした地域の魅力発信
- 更なる自転車利用環境の向上
レンタサイクルなどを通じた自転車利用機会づくり
- 運動・健康維持のための、日常的に自転車を活用しやすい環境づくり

つかう

様々な場面で、 自転車の活用を楽しめる 環境をつくる

- 1 日常の移動を自転車で
- 2 柏を楽しむサイクルツーリズム
- 3 サイクルスポーツを身近なものに
- 4 サイクル&バスライド

- 1 シェアサイクルの導入・レンタサイクルの充実化
- 2 環境に優しく健康的な移動手段としての自転車利用の普及啓発
- 3 自転車通勤に関する情報提供
- 1 自転車マップ等による自転車利活用に係る情報発信、PRの充実
- 2 手賀沼サイクリングロード等を楽しむ自転車利用環境の充実
- 3 サイクルトレイン等の取組との連携
- 4 自転車利用の拠点施設の設置検討
- 1 自転車に関するイベント等の支援
- 2 誰もが楽しめるサイクリングツールの発信
- 1 公共交通+自転車による移動への転換

健康

- 市民の運動意欲、スポーツ実施率の低下

③ 駐輪環境に関する課題

- 市民ニーズに合わせた適切な駐輪規模への見直し
- 放置自転車対策の継続

とめる

自転車を適切に 駐輪できる環境をつくる

- 1 ニーズに応じた駐輪環境づくり
- 2 放置自転車を無くすために

- 1 多様な駐輪ニーズに応じた駐輪場の整備
- 2 駐輪場の安全対策
- 3 施設や料金収受の機械化、電子決済化
- 4 駐輪場の適正配置の推進
- 1 民間事業者との協力による駐輪場整備、駅周辺巡回の実施
- 2 放置自転車削減に向けた広報・啓発

地勢・人口

- 総人口推移は、今後やや減少し、その後横ばいと推計。

駐輪・放置自転車

- 駐輪場によって、利用率に差がある
- 放置自転車台数は、年々減少傾向であり、引き続き対策継続が必要。

④ ルールマナーに関する課題

- 交通ルールの周知が不十分
特に、交通安全教育が十分に浸透していない高齢者、20~40代の子育て世代等

まもる

自転車を地域の交通手段 として活用していくために、 交通ルールや走行マナーの 意識を高める

- 1 自転車に関わる事故を減らすために
- 2 自分自身をまもるために
- 3 万が一の事故に備えて

- 1 様々な年齢層に合わせた交通安全教育機会の充実
- 2 交通安全の意識向上を図る広報啓発
- 3 道路利用者（歩行者・自転車・自動車等）の安全促進
- 4 地域と連携した交通安全指導の強化
- 1 自転車ヘルメット着用の広報啓発
- 1 自転車損害賠償保険等の加入促進のための広報啓発

安全

- 全事故に対する自転車事故件数の割合が横ばい
- 交通安全教育が十分に浸透していない世代がいる

評価指標